

## 当院では、2016年4月より**間歇補充式血液透析濾過法(IHDF)**を 施行出来る装置「**ニプロ社製 NCV-3**」を10台導入致しました

「**間歇補充式血液透析濾過法、IHDF (Intermittent Infusion Hemodiafiltration)**」とは、従来の血液透析濾過法と違い、人工腎臓の膜を介して置換液の補充を間歇的に行う血液透析濾過法です。

### 「**間歇補充式血液透析濾過法**」の特徴

血液浄化療法中に除水を行う際の、循環血漿量減少からくる血圧低下を予防します。

また、治療中の末梢循環を改善する事により、生体内における細胞から血管内への尿毒性物質の移行(拡散)を促進させ、除去効率の向上等が期待出来ます。

通常**の血液透析濾過法**では、アルブミン漏出量に配慮しながら治療条件を検討しますが、「**間歇補充式血液透析濾過法**」では、通常**の血液透析濾過**に比べアルブミン漏出が抑えられている為、高齢の方や栄養状態が良好でない方でも選択可能な治療法と考えます。



《NCV-3》

イメージとしては、「間歇補充式血液透析濾過法」は血液透析と血液透析濾過の中間に位置する治療法と言った方が理解しやすいでしょうか。

## 水質管理

当院では、安全できれいな透析液を供給するために、臨床工学技士によって透析液・透析用監視装置の管理をしています。

「間歇補充式血液透析濾過法」も、On-LineHD-F と同様に高い水質基準が設けられており、ほぼ無菌透析液( $10^{-6}$ CFU/ml 未満)でなければなりません。

当院では、この高い水質基準をクリアしており、「間歇補充式血液透析濾過法」やOn-LineHD-F を施行可能としております。

まだまだ全国的に普及していると言える血液浄化法ではありませんが、我々は、この「間歇補充式血液透析濾過法」が標準的治療法になってくる可能性を秘めていると考え、導入する運びとなった次第であります。

臨床工学科